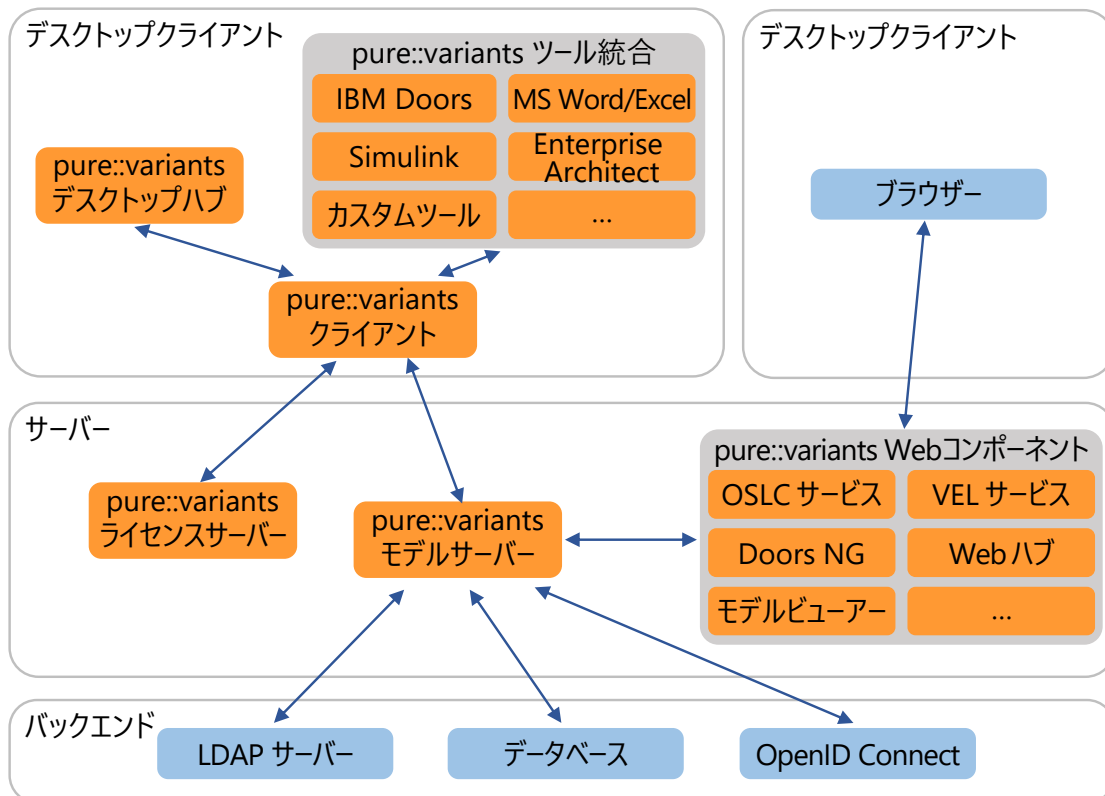


## pure::variants のシステム構成と要件

pure::variants の全体像は次図のとおりで、使用するエンジニアリングツールと pure::variants モデルに必要なデータ管理モードに応じて pure::variants のセットアップは図のオレンジ色のボックスで示されるコンポーネントの一部またはすべてで構成されます。

コンポーネントはITの観点から、サーバー上で実行されるコンポーネントとデスクトップクライアント上で実行されるコンポーネントにグループ化されます。あるシナリオでは、左上に示されるデスクトップクライアントのコンポーネントのみが必要になりますが、別のシナリオではクライアント側で実行されるブラウザと組み合わせるサーバーコンポーネントが必要になります。ブラウザやLDAPなどのように青色のボックスで示されるコンポーネントもあり、それらは pure-systems 社からは提供されませんが、特定のシナリオで pure::variants コンポーネントと相互作用します。



この資料は、「pure::variants Setup Guide : Version 5.0.4.685 for pure::variants 5.0」からの抜粋です。

## システム要件

pure::variantsには、インストールするソフトウェアに応じて異なるシステム要件があります。それらすべてのシステム要件を下表に示します。

pure::variantsソフトウェア	OS	ソフトウェア	メモリ
Eclipseベースのクライアント	Windows 7, 8, 10 Windows Server 2003, 2008, 2012, 2016, 2019 64ビット版 Linux (X11 ウィンドウシステム要) Mac OS	64ビット版 Java SE 8 Eclipse 3.8.0~4.18	最小：2GB 推奨：6GB
データベースをもつモデルサーバー	Windows 7, 8, 10 Windows Server 2003, 2008, 2012, 2016, 2019	Oracle 9 以降 Microsoft SQL Server 2008 以降 PostgreSQL 13 以降	最小：2GB 推奨：8GB
ライセンスサーバー	Windows 7, 8, 10 Windows Server 2003, 2008, 2012, 2016, 2019 64ビット版 Linux		最小：512MB 推奨：1GB
Webコンポーネント	Windows 7, 8, 10 Windows Server 2003, 2008, 2012, 2016, 2019 64ビット版 Linux	Oracle JDK/JRE Java SE 8 もしくは OpenJDK 8 Apache Tomcat 8 以降, WebSphere Liberty Kernel v19.0.0.6 以降	最小：2GB 推奨：6GB

Java の互換性は、オラクル社が提供する公式の Java Standard Edition (<https://www.java.com/en/download/>) と OpenJDK (<https://jdk.java.net/archive/>) でテストされています。